

星屑

2010年 9月号

No. 426



いて座の散光星雲 M8

41cm反射望遠鏡 KCAO

いて座の散光星雲 M8

41cm 反射望遠鏡

熊本県民天文台

TVQ「あかり Story」に登場

7/16(金)、天文台で取材打ち合わせ

7/25(日)、城南町と天文台で撮影、画像等を提供

8/10(火)、1回目、「星あかりの天文台」を放映！

8/17(火)、2回目、「星空を守るあかり」放映予定

The screenshot shows the homepage of the TVQ 'Akari Story' website. At the top, there's a banner with the show's logo 'あかり STORY' and the TVQ 7ch logo. Below the banner, the broadcast schedule is listed: '毎週火曜日 夜9時55分~10時00分'. The main content area is divided into several sections: '番組紹介' (Program Introduction) with a summary of the show; '次回予告' (Next Episode Preview) for the episode dated 2010.8.17, titled 'STORY 72 「星空を守るあかり」'; '過去の放送' (Past Broadcasts) for the episode dated 2010.8.10, titled 'STORY 71 「星あかりの天文台」'; and a small preview image for the second episode.

幅広い楽しみ方を紹介！

「ホームページを見て、ぜひ取材したいと思っているのですが・・・」とTVQ（九州放送）から電話。事前の審査（？）のあと、企画原案が通つたらしく、天文台で取材を受け、撮影の打ち合わせを行いました。すぐにメーリングリストで会員さんに協力を要請、画像や映像を集めました。撮影は7月の25日に天文台と城南町各地で実施。

番組は、星空の楽しみ方を幅広く紹介する1回目と、「星空の見えるまちづくり」が作り出した落ち着いた夜景と、城南町型の防犯灯を紹介する2回目に分けて放映されることになりました。福岡地区での放映、スポンサーは九州電力さんです。

※一般公開は金・土
で)



熊本県民天文台の長年にわたる活動、その取り組み姿勢が

くまもとNPO顕彰2010 を 24(土) 受賞しました!! 副賞10万円も

活動の独自性、波及性、継続性を高く評価



18時から、記念講演、選考結果と受賞団体の発表、続いて表彰式が

くまもと県民交流館パレアで開催され、艶島・高田の2名が参加しました。

表彰対象団体は、当日、会場で発表する・・・ということでしたので、選考結果が発表されるまではドキドキの連続でした。でも、受賞団体を発表する時、一番最初に熊本県民天文台の名前が呼ばれ、受賞が決まった瞬間、それまでの緊張が一気に解けて、ホッとした。

イベントの前半は、講演でした。助成金を出している側から見たNPO活動団体の長所や短所。助成するに当たって、助成する側がどんなことを考え何を重視しているかなどが分かって、とても興味深いお話しでした。助成金を出す側の企業や団体は、自立して活動できるNPO団体と、

とら太の会
くまもと子ども
人権テープル
熊本県民天文台

活動に活動する県内のNPO法人をたたえる「くまもとNPO顕彰2010」の表彰式が24日、熊本市の県民交流館パレアであった。NPO活動を支援しているNPOくまもと(上土井章仁代表理事)が「くまもと子どもの人権テープル(同)、とら太の会」と市とくまもと子どもの人権部門(八代市)の3法人に表彰状と10万円を贈った。

活発なNPOたたえる

熊本市で
表彰式

くまもと子どもの人権テープルはNPOくまもとが「くまもと子どもの人権テープル(同)、とら太の会」と市とくまもと子どもの人権部門(八代市)の3法人に表彰状と10万円を贈った。表彰式に先立ち、熊川平和財團の菅井明則総務部長が自立した活発な市民活動は社会を変えると願して講演した。

熊本県民天文台は子どもたちに天体の面白さを伝える活動、くまもと子どもの人権ティープルは人権問題に取り組む独自性、とら太の会は障害者の有無を超えてユニバーサルデザインに取り組む点などが評価された。また「自然を愛する会ジユニア・アウトドア・クラブ」(熊本市)に審査員特別賞を贈った。

本音でコミュニケーションしながら1つのミッションを遂行したこと。その中で、様々な課題を見つけ出し、具体的な解決策をさぐり、工夫し、更に社会全体の変革へと発展させていくことができたら、それが理想的なのだ・・・という部分があり、その視点に私は特に興味を持ちました。

また、他の受賞団体も、それぞれ長い期間にわたって独自のテーマに取り組んでおられて、活動のあり方など、学びたい点も多かったです。

県民カレッジでは初めての理系コース、その第1回目

満天の星空と宇宙の魅力

7/26(月)

熊本の星空から、宇宙を考える

会場は満席! 参加者にも、主催した熊本県生涯学習センターにも好評!



熊本県の生涯学習推進センターが主催する、県民カレッジ 科学技術コースの第1回目です。

定員は50名で

参加された受講生は49名。受付業務を行うパレアボランティアが3名くらい、それに生涯学習センターの職員2名ほど。定員50名の会場は満杯の状態でした。

通常の講座では、申込者は多くても、実際に「講義」

を受講される方は30名強なのですが、今回の講座は、生涯学習センターが新しく始めた「唯一の理系コース」、しかも話題が「宇宙」ということ也有ってか、ほぼ全員が出席という素晴らしいスタートになったようです。

私は、その最初の「講義」を受け持つことになったわけです。昼間、星が見えない場所で解説をするので、かなり時間をかけて準備をしていったのですが、参加者の顔を見ながら、その反応を確かめながら、ゆっくり丁寧に進めたので、持参したプレゼンテーションの3分の2位をお話ししたところで、持ち時間を使い果たしてしまいました。

それでも、受講生の反応はとても良かったようです。「星空や宇宙って、思っていたよりも面白そうだ」とか、「県民天文台に行ってみたい」とか、声が出ていたそうです。

「電子紙芝居」での解説が好評

講座が終わった後、生涯学習センターの職員の方々と意見交換をしました。すると、「プレゼンテーションの仕方がこれまでの講師達とは全く違っていてユニーク」「楽しいし分かりやすいし、目から鱗でした」「終わってみると、1時間半があつという間でしたね」・・・などと好評でした。(よかったです! いっぱい悩んで、時間をかけて準備をした甲斐があったね!)

後期講座で、現地学習の企画も

おまけに、「後期講座では、ぜひ、天文台での現地開催を実現して欲しい」との要望も頂きました。こちらは、雨天時の開催をどうするかを検討してから、詳細打合せをすることにしました。

「後期講座では、今日解説してもらえたかった残りのテーマを、ぜひ解説して下さい」とも要望されました。残したのが「ブラックホール はくちょう座X-1」の解説でしたからね。やっぱりブラックホールへの関心は高そうです。

フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 夏の大三角とブラックホールの観察

7/ 31(土) 曇り空でも、70名余が参加

31(土) ブラックホールが見えるまでは帰らない！ そんな熱気に溢れていきました！



曇り空でも 70名余

皆さん熱心で、「星が見えるまでは帰らない」という心構え（？）。熱意のエネルギー源はいったい何だったのでしょうか。おそらく、そのひとつは夏休みの自由研究ですね。「星の動きの観察」に取り組みたいという家族が多くかったです。もう一つは、やはり、ブラックホールへの高い関心でしょう。

普通、「ブラックホールは、光さえ吸い込んでしまうので見えないはず。怖くて怪しい天体」だと思っているのに、今夜は、そのブラックホールを「観察する」というのです。半信半疑の人も含めて大勢が集まつたみたいです。

それで、メインの講師を務める私(艶島)は、19:30～22:00まで、電子紙芝居に仕立てた解説や、星座物語を上演しっぱなしでした。参加された方々も、後半になって、夏の大三角などが見えましたから、満足して下さったようです。

リピーターが増えていますから

「星空はタイムマシン」「ダークマター」など、電子紙芝居の新しい解説をいくつか加えました。県民カレッジ向けに作った解説に手を加えたものです。「フィールドミュージアムへ飛びだそう！」での星の観察会はとても好評で、くり返し参加されるご家族が増えている感じです。那人達に満足していただくためには、もっと解説の内容を豊かに、分かりやすく、充実させた方が良さうだと感じたからです。

ヒゲさんと西嶋さんに、2階の観測室をお任せして、私は、玄関前広場の解説会場で、解説に専念・・・・でした。

8/1(日) ナイトハイクで 星の観察会

甲佐町、府領公民館の活動です

一般的の来台も多くて、総数は50名。西嶋さんと、会員の杉村さんが運営を応援！

8/4(日) エアコン 取り替え工事

従来機よりも能力アップしました

壊れたのは、7/24日頃？

猛暑が続く中、団体観望会の予定も一杯で、大勢の参加者が見込まれているというのに、突然エアコンが壊れてしまいました。これには参りましたねえ！



修理しようかと思ったけれど…

保証期間は過ぎているし、動作がとても不安定。その「症状」を伝えたら、修理費の見積もりがかなり高くなりそうな気配です。格安で修理できないかいろいろ手立てを探したけれど、ついに諦めて、今までよりも能力の高いエアコンに取り替えることにしました。



観望用機材の充実を図ろうと思っていたのですが

今年度は、光害カットフィルターなど、望遠鏡での観望を楽しくするような機材を購入しようと、運営委員一同が張り切っていた矢先です。「くまもとNPO顕彰2010」の副賞10万円も加わって、大いに期待がふくらんだばかり。ちょうどそのタイミングで壊れるなんて・・・ガックリですね。



しかし嘆いてばかりはいられません。「雨が降っても観察会を実施したい！」という申し込みもありますし、この機会に、冷房能力をアップ。大人数がミーティングルームに入った場合でも、これまでより快適になるのなら、その方が良いだろう・・・と意見が一致。急遽家電量販店に走り、機種を選定して、取り替え工事を発注しました。

快適です！

取り替え後、団体向けの観望会はすべて野外での解説で実施できていて、まだ室内での解説は行われていません。でも、エアコンをつけると室温が一気に快適なレベルにまで下がりますから、イベントの準備や後片付けの際にはとても助かっています。

「元運営委員」さんの来台も、増えています！

このところ、夏休みだということもあって、学生時代に運営委員をつとめて下さった方々が、久しぶりに来台されるケースが続いています。中には子どもさんを連れての来台もあり、お互いが「時の流れ」に感動することもあります。快適になった天文台、皆さんのがんばりを歓迎します！

**8/7(土) 城南町歴史民俗資料館から
子ども達20数名と、引率5名ほど、総数は50名
一般の来台者も多数、野外での解説がこの夏の定番に？**



「早く来てください！」

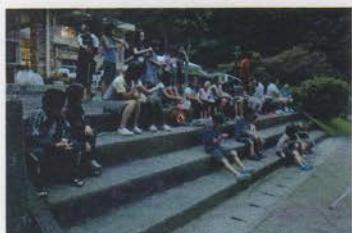
「もうすぐ金星や土星が沈みます！」20時に来台する予定だったのに、なかなかやってこないものですから、歴史民俗資料館に電話して催促してしまいました。だって、せっかくの機会です、環が細い状態の土星や半月状の金星を、ぜひ見て欲しいですよね。

連絡を受けて、急いでやってきた男子グループは、金星や土星が見えて大喜び。お風呂に時間がかかるて大幅に送れてやってきた女子グループは、金星・土星は見えなかつたけれど、夏の大三角やアンタレスを楽しんで元気に戻っていました。

歴史民俗資料館に宿泊して、いろんな体験をする「お泊まり博物館」での夜のプログラム。今回は、熊本市に合併後初めての開催とあって、熊本博物館の学芸員＝原さんも、引率者として参加されていたようです。

**8/10(火) 美里町 元気の森かじかで
かっぱっぱキャンフ 星の観察会、35名が参加
モデルロケット打ち上げ、電子紙芝居、星の観察を楽しみました**

主催は、NPO法人 IOBスポーツ推進事業団 知的障害者も参加



毎年今頃の開催、定番になった「星の観察会」です。水泳の練習に励む元気の良い子ども達と、知的障害者とが一緒に星空や宇宙を楽しんでくれます。

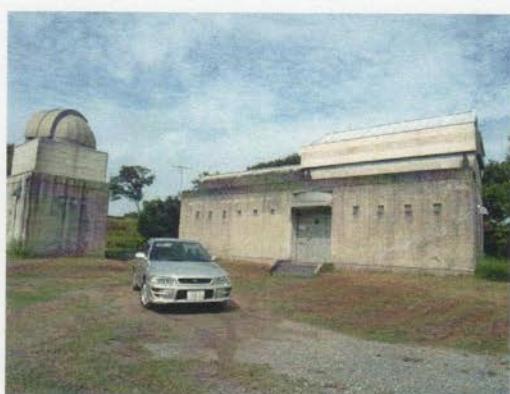
今回も、モデルロケットの打ち上げ、電子紙芝居で星座物語。たくさんリクエストをいただいて、星の観察も楽しんでいただきました。最後に、天体写真をプレゼント！

8/12(木) フィールドミュージアムへ飛びだそう!

夏の天の川とペルセウス座流星群の観察

100名ほどが参加、流れ星が飛ぶたびに歓声が!

当日も、たくさん問い合わせ電話がありました



まず、草刈りから

7月31日のフィールドミュージアムの日にも草刈りをしておいたのに、あっという間に雑草が伸びて、上の写真の有様です。これでは見た目も悪いし、足元が夜露で濡れて來台者にいやな感じを与えかねません。それで、午後一番に草刈りを始めました。

刈り取った雑草は、彗星観測ドーム等の裏側に運んで積み上げ、15時過ぎに一段落。

お天気も夜には何とか回復しそうだし、これで今夜はきっと大丈夫! そう思って、次の準備作業に取りかかりました。

パソコンを載せる台が欲しい!

天文台の玄関前広場で解説する時や、出

張観望会で解説するとき、いつもノートパソコンを載せる台のことで悩んでいました。

プラスチック製のコンテナをひっくり返して、その上にコンパネなどを載せたり、その都度工夫していたのです。しかし、パソコンを載せる台が低いと、座って操作するときの姿勢に無理が生じてしまいます。

それで、今回、思い切ってパソコンを載せる専用の台板を作ることにしました。

ホームセンターで合板を購入、半分ほどに切断して、底にカメラネジのアダプターを取り付けました。できあがったのが下の写真。大型の三脚に取付け、ディレクターズ・チェアと一緒に組み合わせれば、立派な移動用解説台のできあがりです。





条件の良いペルセ群！

久しぶりですね！それに、夜には何とか晴れ間が出そうだという天気予報です。会場作りの準備をしていると、お客様も運営委員も、今夜は出足が早いです。次々に集まってきて、青いビニールシートの上に座り込み、開催時刻になるのを待っています。

少し離れた場所に

今日作ったばかりの「移動用解説台」を設置しました。ここなら、会場全体が見渡せます。スピーカーはプロジェクターのすぐ後ろに設置、5mの延長コードでマイクをつなぎ、解説の音声を流せるようにしました。会場の様子を撮影するカメラも、今回は少し位置を変えてみました。ここなら、少々参加者が増えたとしても撮りこぼすことはなさそうです。

開始時刻は、ドン疊り！

それまでの明るい空から一変して、一気に黒雲が広がりました。おまけに、解説を始めた直後にはパラパラと雨が落ちて・・・参加者が浮き足立つ場面もありました。

でも、こちらは強気。「このお天気なら、早ければ20時頃、遅くとも21時には晴れますよ！」なんて予言。かまわず流れ星とペルセウス座流星群の解説を続けたのでした。

予言(?)が当たったのか

突然、「あっ、星が見える!!」と子どもの声が上がりました。時計を見ると、20時です。「やっぱり、当たりましたね！」自慢げにそう言ってから、プロジェクターの電源を切り、頭上に見えている星座の解説に移りました。

その後、雲が広がったり、晴れ間が広がったり、一進一退の状態が続きました。それでも、いくつもの流星が出現、そのたびにブルーシートの上で歓声がはじけていました。イベントが終ったのは23時頃でした。

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

残暑お見舞い申し上げます。それにも連日の猛暑、たまりませんね。おかげで日中真っ青な空にモクモクと雲がわき、夕方には空いっぱいに広がって…というパターンで、なかなか西の空が見られません。どうせなら日没前に一気に崩れて降って、その後スカッと晴れてくれればいいのにと、勝手なことを考えています。

なかなか晴れない西の空には、水星・金星・火星・土星、そして細い月まで共演しているはずなのですが・・・一方、西の惑星たちが沈んだ後、東の空に木星が輝く姿を現しています。金星も観望のシーズンですが、これから木星も観望の好機。しばらくは、太い縞が一本となった姿を楽しめますね。



天馬の背に乗って

紺碧の空に
純白の雲 もくもく
クマゼミシャワーをいっぱい浴びた 汗まみれの一日の
締めくくりは
本物の天然シャワー

遠くからは純白に見えた雲
近づくと
灰色 鉛色 暗黒色

なんでも
遠くから眺めるのが一番なのはわかっているけれど
そうできない ことも ある

体いっぱいに黒い雲を抱え込んで
あふれそうになつたら
シャワーにして 洗い落として

夜には
天馬が 神々の王を背中に乗せて
迎えに来るから



By Dio

2010年7月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 12日／12日=100% 総開台日数 15日
一般来台者数 252名 会員来台数 33名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
4日 (日)	雨	艶島 小林M	0人	小雨が降り出たので早めに帰ります。
7日 (水)	晴れ	艶島 高群	50名	16時過ぎから電話での問い合わせが一気に増加。20時頃までは数家族だったのでんびり楽しめましたが、それ以降は観測室はぎゅうぎゅう詰めでした。 金星、火星、土星、ベガ、アルビレオ、アーク トゥルス 白鳥座X-1を見ようとしたところで曇ってしまいました。解説にスピーカーを使うほどの人出でした。七夕飾りも制作！
9日 (金)	曇りの ち晴れ	西嶋 艶島	8人 3家族	金星、火星、土星、ベガ、アルビレオ、M57 開台時、西の一角だけがぽっかりと青空だったが金星が見え、火星が見え、土星が見え・・・雲がどんどん消えていって、夏の星座を楽しめました、子連れのママ達大喜びでした。シーリングと透明度は今ひとつでしたが・・・。
10日 (土)	雨	艶島、中島 西嶋、高田 小林M	0人	Talk About ☆星屑発送 ☆備品購入について フィルターとアイピースの購入を決定
11日 (日)	曇りの ち雨	艶島	0人	夕方、空が明るくて薄日も差していました。でも、運営開始時刻頃から雨。次第に激しく降り出たので、20時で終了。
16日 (金)	曇り	西嶋 艶島	2人	福岡のテレビ局TVQのあかりSTORYという番組を作るということでディレクターさんとライターさんが打ち合わせに来台。25日に撮影に来られます。放送は8月10日と17日だそうです。

日付	天気	担当運営	来台数	記事
17日 (土)	晴れ/ 快晴	中島 西嶋 艶島	9人	月、金星、水星、土星、スピカ、アンタレス、ベガ、M56,M27,M17,M22,M20,M8など 久しぶりの晴天。天の川も見えていてとても楽しい運営でした。しっかり光害カットフィルターの効果も確認できました。 M20 の撮影
18日 (日)	晴れ	艶島 杉村 艶島	14人 4家族	金星、火星、土星、月、アンタレス、M7、M22 解説を始めたらいっぱい質問が飛び出しました。流星や人工衛星もたくさん見えたので大喜び！終了したのは23時でした。 星野写真・月
19日 (月)	晴れ	艶島 艶島	4人	月、金星、土星、スピカ、アンタレス、M7、白鳥座 X-1 夕方雨が降ったので1家族だけでした。 M8、月
23日 (金)	晴れ	西嶋 高田	4人	月、金星、水星、土星、ベガ、アンタレス、ベガ、アルビレオ,M13ダブル2 開台時間東の空に雲。雷も鳴って心配したが時間と共に晴れた。読売新聞の記者さんが取材に来られました。
24日 (土)	曇り/ 晴れ	中島 西嶋	15人	月 城南こばと保育園から来台。何とか月が見えてよかったです！
25日 (日)	晴れ／ 曇り	艶島、中島 西嶋、高田 小林M	11人+ 3人	TVQの取材 月、土星など 熊本 NPO 頑彰 2010 (表彰状と懸賞金10万円)
26日 (月)	晴れ	艶島	54人	県民カレッジ科学技術コース 県民交流館パレアで実施
30日 (金)	曇り/ 晴れ	西嶋	7人 2家族	7時ちょっと過ぎにお客様来台 暗くなるのを待ちましたが雲だらけ。しばらくは望遠鏡の解説や金星の話などで雲が切れるのを待ち、やっと顔をだしたベガとW2を見て頂きました。子供たちは夏休みの自由研究ということで熱心にメモを取っていました。
31日 (土)	くもり	中島、西嶋 艶島	70人 ほど	フィールドミュージアム「夏の大三角とプラックホール」 せっかくなのに曇ってほとんど星は見えず。デネブだけは全員見ることができた。電子紙芝居が大活躍した。

―― B5 のたわごと――

今年の夏は、とっても暑いですねえ。こんなに暑いのに、まだ台風が上陸していませんが、昨年の今頃は台風も10個は出来ていたので、今年は昨年の半分以下という数です。温暖化になると台風が少なくなるというのを、何処かで見ましたよ。少なくなるのは良いんですが、台風は大型化するんだそう。そんなんで帳尻合わせてほしくないです。

☆ 9月の天文現象＆行事☆

- 1日（水） 二百十日
- 2日（木） 下弦（02:22）
- 3日（金） 水星が内合（00:55 4.7等、視直径10.7"）
- 8日（水） 白露（はくろ…秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味）
新月（19:30）
- 11日（土） トーケアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）
- 15日（水） 上弦（14:50）
- 18日（土） 木星と天王星が最接近（03:16 00°41'.6）
- 20日（月） 水星が西方最大離角（02:20 -0.4等、視直径7.1"）
彼岸の入り
- 21日（火） これから11月にかけて 103P/ハートレイ彗星が見頃に
- 22日（水） 中秋の名月 天王星が衝（10:01 5.7等、視直径3.7"）
木星が衝（11:33 -2.9等、視直径49.8"）
ブルートミュージアム「中秋の名月を写そう！」 19:30～21:00
- 23日（木） 満月（18:17）
秋分（しゅうぶん…昼夜同じ長さ（等分）になる日で秋分。秋の彼岸の中日）
- 24日（金） 金星が最大光度（08:42 -4.6等、視直径39.7"）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2010年9月号 通巻426号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO 熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで